

きゅうりゅうかせんたいさく
手取川堤防の急流河川対策の促進
 ～堤防の質的整備の推進～
 のみ
 手取川水系手取川（石川県能美市）

1. 事業の概要

手取川は、流域の9割を山地が占め、水源から河口までの平均勾配が約27分の1という我が国有数の急流河川です。

急流河川という特性から、洪水時の流水は非常に大きなエネルギーを持っており、これまでも幾度となく護岸が流失するなど、大きな被害をもたらしてきました。

このため、急流河川の洪水エネルギーに対して、十分な安全性を確保するため、既設堤防を拡幅するとともに光ファイバーケーブルによる侵食モニタリングセンサーを整備します。

2. 事業の経緯

堤防の質的整備については、平成16年度より事業に着手し、平成18年度までに全体計画1,200mのうち約400mが完成しています。

3. 平成19年度事業の内容

平成19年度は、洪水時の局所的な洗掘・侵食から堤防を保護するため、能美市辰口地区において、急流河川対策（腹付け盛土）を推進します。

